

得票を増やし日本共産党3議席再選

— ご支援ありがとうございました —

4月26日投票の江南市議会議員選挙で、日本共産党は現職の森ケイ子(9期目)、東よしき(7期目)、かけのまち子(2期目)の3議席を確保しました。3人の合計得票は5056票で前回比451票増。得票率は11.82%で前回比0.75%増と、ともに伸ばすことができました。

今回の市議選は30~40代の若手中心の有力新人が10人も立候補した、稀に見る大激戦。世代交代が叫ばれ、また同時選の市長選挙では多選批判が争点となる厳しい状況下、日本共産党の3人の議員は、「豊かな経験と、市民と力合わせ要求を実現させてきた実績」「弱いものいじめの政治から暮らしを守る党議員団のかけがえのない役割」「戦争する国づくりストップの願いを托せるのは日本共産党」と訴え、大激戦を勝ち抜きました。

熱心にご支援いただきました皆さまに心からの感謝を申し上げます。

公明党、自民系現職は軒並み票を減らす

一方、公明党現職3人が前回より合計727票減らしたほか、自民系現職も軒並み大幅に票をへらし、現職2人が落選。一方、新人が一気に7人も当選しました。



公約実現へ決意を述べる、右から、東議員、かけのまち子議員、一人おいて森議員(27日朝、江南駅東口)

公約実現に全力で取り組みます

日本共産党議員団3人は、投票日翌日の朝、江南駅で支援者といっしょに1時間にわたり「暮らし・平和を守り、もっと住みよい江南に」「ムダを削り市民の暮らしのために使わせる」など、公約実現への決意を表明しました。

選挙戦では、平和とくらしの願いはもちろんのこと、便利なバスの実現、浸水対策の強化、資源ごみ収集の利便性向上、子育て支援の充実など、市民サービス向上への強い願いが寄せられました。

日本共産党議員団は掲げた公約の実現へ、市民のみなさんと力を合わせて全力で取り組んでいきます。



沢田新市長へ、市民の願いを届け 市民の目線で厳しく監視します

市議選と同時に行われた市長選挙では、新人で前市議の沢田和延氏が現職の堀元氏を破り、4月30日から新体制に移行しました。

沢田新市長は市民との対話を重視するとしており、掲げた公約では「子ども医療費無料化を中学3年生まで拡大」「住宅リフォーム助成」「宮田導水路上部整備事業の中止」「新図書館の建設」「市長退職金の削減」など、日本共産党議員団の政策・公約と一致する部分もあります。しかし一方で、事業仕分けや公民館など公共施設使用料の見直しを打ち出し、新ごみ処理施設候補地問題では、このまま中般若町北浦を推進するとしています。

新市長に対し日本共産党議員団は、市民の願いを届けて実現を迫り、市民のためにならない政策に対しては厳しく監視をしていきます。

	2015年市議選得票	前回市議選得票	前回との得票差
森 ケイ子	1,767	1,726	+41
東 よしき	1,388	1,140	+248
かけのまち子	1,901	1,739	+162
合計	5,056	4,605	+451

5月市議会臨時会は14日から

— 議会運営の改善もため申し入れの予定 —

新しい市議会体制を決める臨時議会は、5月14日からです。これに先立ち日本共産党議員団は、議会運営の一層の民主的改善を求め、市議会各会派に対して申し入れを行う準備をしています。

なお日本共産党議員団の役割分担は 団長=森ケイ子、会計責任者=東よしき、広報担当=かけのまち子 です。